

## 基調講演

### 岩田一政：日本経済研究センター理事長

専門は経済学、国際金融、金融政策。東京大学名誉教授。内閣府政策統括官（2001～2003）、日本銀行副総裁（2003～2008）、内閣府経済社会総合研究所長（2008～2010）、経済財政諮問会議民間議員（2008～2009）、郵政民営化委員会委員長（2016～2021）を歴任。2010年以降現職を務め、経済社会の幅広い分野にわたり、内外に政策提言を行っている。『カーボンニュートラルの経済学』（共編著）日本経済新聞出版 2021. 『2060 デジタル資本主義』（共編著）日本経済新聞出版社 2019. 『金融正常化へのジレンマ』（共編著）日本経済新聞出版社 2018. 『金融政策と銀行行動』（共著）東洋経済新報社 1980（エコノミスト賞受賞）。現在、AI ネットワーク社会推進会議 AI 経済検討会座長も務める。



## パネリスト

### 石原久稔：ヘルスケアアセットマネジメント株式会社取締役

2023年より現職。1990年株式会社住友銀行入行。主に企業向けファイナンス商品の開発を担当。2017年株式会社三井住友銀行信託部長。2020年 同行アセットファイナンス営業部長。2020年～2023年一般社団法人流動化・証券化協議会理事。「新しい資金調達ビジネスとコンプライアンス」（共著）『旬刊金融法務事情』2005年1月号、金融財政事情研究会。「SFJ Report 三井住友銀行の顧客債権流動化業務における証券化商品のリスク管理強化」『SFJ ジャーナル』第3号 2010年 流動化・証券化協議会



### 永瀬伸子：お茶の水女子大学基幹研究院教授

専門は労働経済学・社会政策の実証分析。博士（経済学）。2006年より現職。ハーバード大学とコーネル大学で客員研究員を務めたほか、2015～2021年に学長補佐。「家事自動化の実現性に対する技術開発者の意識とその国際比較：AI 技術と家事の自動化に関する日英専門家デルファイ調査より」（共著）『経済研究』75(1)、一橋大学経済研究所、2024。「シングルキャリアと今後の支援の可能性—シングルは幸せか？」『日本労働研究雑誌』、65(1)、労働政策研究・研修機構、2023. 『少子化と女性のライフコース』（共編著）原書房、2021. “Abe's Womanomics Policy: Did It Reduce Gender Gap in Management?” T. Hoshi and P. Lipsy eds, The Political Economy of the Abe Government and Abenomics Reforms, Cambridge University Press, 2021. 現在、中央社会保険医療協議会公益委員などを務める。



### 宮本太郎：中央大学法学部教授

中央大学法学部教授。北海道大学名誉教授。専門は政治学、福祉政策論。内閣府参与、総務省顧問、社会保障審議会委員、社会保障制度改革国民会議委員、男女共同参画会議議員など歴任。現在は社会保障審議会・生活困窮者自立支援および生活保護部会委員、『月刊福祉』編集委員長など。単著に『貧困・介護・育児の政治 ベーシックアセットの福祉国家へ』朝日新聞出版 2021、『共生保障 「支え合い」の戦略』岩波新書 2017、『生活保障 排除しない社会へ』岩波新書 2009、『福祉国家という戦略 スウェーデンモデルの政治経済学』法律文化社 1999 など。



## モデレーター

### 河越正明：日本大学経済学部教授

専門は日本経済の実証分析。博士（国際公共政策）。経済企画庁・内閣府を経て2018年より現職。「企業の社会的課題への取組みは就労市場でどのように評価されるのか」（共著）『日本労働研究雑誌』、労働政策研究・研修機構（近刊）。「日本人の寿命の価値が伸びた経済価値はどれだけか？ 経済成長の成果の一試算」『経済分析』197、内閣府経済社会総合研究所、2018. 『医療と経済』（共著）大阪大学出版会、2016. “Regional Dynamics in Japan: A Reexamination of Barro Regressions,” Journal of Japanese and International Economies, 13, 1999.

